

2003年12月18日

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン
エクソンモービル有限会社

セブン-イレブン・ジャパンとエクソンモービル 複合店舗の開発と運営に関して業務提携へ

12月18日、株式会社セブン-イレブン・ジャパン(東京都港区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO> 山口 俊郎：以下 セブン-イレブン・ジャパン)とエクソンモービル有限会社(東京都港区、代表取締役社長 G. W. プルーシング：以下 エクソンモービル)は、同一敷地内におけるコンビニエンスストア(以下 CVS)及びセルフサービスステーション(以下 SS)の複合店舗の共同開発と運営に関する業務提携契約を締結しました。

業務提携契約調印式には、セブン-イレブン・ジャパンより山口俊郎代表取締役社長 最高執行責任者<COO>、山本昌昭常務取締役 常務執行役員、エクソンモービルよりクワ チョン セン アジアパシフィック リージョナルディレクター、J.F.スプルール代表取締役副社長、宮原佳典マーケティングサポート統括部長が出席しました。

今回の業務提携により、両社は最高のサービスを同時に提供することができ、両社の強みを活かすことによって生み出される様々な相乗効果が期待できます。セブン-イレブン・ジャパンが創業以来 30 年間培ってきたコンビニエンスストア運営ノウハウ、味・質を追求した商品開発力や時代の変化に対応したサービスと、エクソンモービルのエクスプレス SS における最先端の設備、スピードパスといった革新的技術が一体化することで、ワンストップショッピングなどの更なる利便性を求めるお客さまに非常に価値のあるサービスを提供できると考えております。

両社はまず、2004 年からそれぞれが有する物件において、CVS は「セブン-イレブン」ブランド、SS は「エッソ エクスプレス」ブランドにて、パイロットテストを行い、CVS とセルフ SS の一体運営及び小売プログラムの効果を測定・検証いたします。また、この店舗がお客さまのニーズを十分に満たすものであることを合わせて検証した上で、本格的に展開していく予定です。

現在、セブン-イレブンは、世界最大手のコンビニエンスストア・チェーンであり、日本では全国 32 都道府県にて 10,055 店舗(11月末現在)を出店しています。また、エクソンモービルは、世界最大の石油会社として、日本において「エッソ」「モービル」「ゼネラル」の 3 ブランドにて、全国で 6,369 SS(11月末現在)を展開しています。

以上